



2019-2020
No.1588
2019.9.26

会長：赤井幸夫 幹事：石坂一男
 会員数：47（休会 1）会場出席：25 欠席：21
 出席率：54.35% 前々回出席率：78.26%
 点鐘：赤井幸夫会長 永井寛之 SAA
 ロータリーソング：奉仕の理想（タクト：金井利夫）
 例会場：ホテルペラヴィータ 3F 12:30～

会長の時間

赤井幸夫 会長



本日は、『禅トレーニングでつくる とらわれない心』（著者：植西 聡）を紹介します。

人はさまざまな感情にとらわれながら生きています。ある感情に心をとられると、ぼんやりしたり、落ち着きを失うなどやるべきことに集中できなくなります。

心配や不安をはじめ、迷い、苦しみ、妬み、恨み、劣等感、後悔……。さらに、欲や虚栄心、思い込みなどに、心をとられる人もいます。

仏教では、このような感情を「煩惱」と呼んでいます。煩惱にとらわれている心を自由に解き放ってこそ、本当の意味で幸せな人生を送れるということです。

人生の目的を追い求めて生きていく

名誉やお金への欲よりも「人生の目的」を優先することが禅の考え方に通じます。

ある会社で技術者として働きながら、ノーベル化学賞を受賞した人がいます。

その人は、ノーベル賞受賞をきっかけに、会社から取締役への昇進を打診されました。取締役に昇進することは、もちろん名誉なことです。また、取締役に昇格すれば、収入も増えるでしょう。

しかし、その人は、「現場で汗を流して働きたい」という理由から、取締役への昇進を断ってしまいました。

いつまでも現場で技術開発をしていくことこそが、その人の人生の目的だったのです。取締役になれば、その目的を果たせなくなると考えたわけです。

自分ならではの人生の目的を追い求めることが、名誉を得ること、またお金もうけにつながっていく…。

そうした生き方ができれば、それに越したことはな

いと思います。しかし実際には、名誉やお金を求めることが、自分ならではの人生の目的を追求するうえで、障害になってしまうことも少なくありません。

そのとき、名誉やお金もうけを優先するのか、それとも自分ならではの人生の目的を優先するのかは、人それぞれの選択です。

しかし、あえていえば、自分ならではの人生の目的を優先するほうが、充実した生き方ができるのではないのでしょうか。

それは、禅の考え方にも通じることになるとと思います。

幹事報告

石坂一男 幹事



- ①地区から地区指導者育成セミナーの案内が来ております。
- ②本日は例会終了後に理事会があります。

会員ご逝去



去る9月20日に浅川忠良会員がお亡くなりになりました。心よりご冥福をお祈り申し上げます。



赤井 幸夫

金井康二公共イメージ委員長の卓話楽しみにしています。

小林 照夫

ラグビーワールドカップ日本大会、日本は第1戦ロシアに大勝した。第2戦は最強のアイランド戦です。28日に行われます。ガンバレ日本。

生方 彰

大変お世話になっております、金井康二様の卓話を記念して。楽しみにしています。

堤 康喜智

金井康二会員の旅に関する卓話、楽しみにしています。

本山 佳宏

- ①妻の誕生日に素敵な花を頂きありがとうございました。
- ②金井さん、本日の卓話楽しみにしています。

金井 康二

本日、卓話をさせていただきます。

豊野 はるみ

金井康二さんの卓話を楽しみにしています。



卓話



公共イメージ委員会 金井康二委員長

『旅で困ったこと』

旅行では皆さんも何かしらトラブルを経験した事があるでしょうが…ということで、金井さんの経験した数々のトラブルの中から、旅先でツアーの同行者が脳梗塞で倒れてしまった時のお話と、ご自身のパスポート紛失のお話をして下さいました。

最後にクイズで、正解者にはワイン(ポルトガル産)の景品もありました！

「オブリガード！」「オブリガーダ！」←ポルトガル語の「ありがとう」です。

タクト



金井利夫 会員

